

離島指定地域の点検

国土審議会離島振興対策分科会
離島指定検討部会

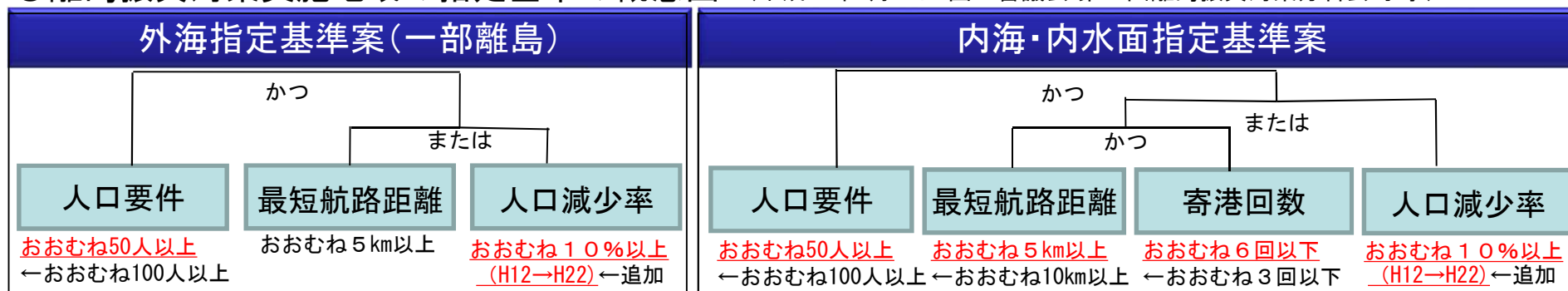
令和3年2月

離島振興対策実施地域の指定基準の見直し(H25)

離島振興対策実施地域

- 離島振興対策実施地域は、離島振興法第2条に基づき、国土審議会の意見を聴いて、主務大臣が指定
(平成30年4月1日現在:78地域、255島) ※主務大臣:国土交通大臣、総務大臣、農林水産大臣
- 離島振興法の改正や人口の大幅な減少等の社会情勢等の変化を踏まえ、平成25年4月離島振興対策分科会において、離島振興対策実施地域の指定基準が見直された

○離島振興対策実施地域の指定基準の概念図 (平成25年4月11日 国土審議会 第10回離島振興対策分科会 了承)



○見直し後の指定基準の運用に関する留意事項

- 1 指定済み離島について、人口要件を満たさなくなった場合においても、今後の振興の方針等を確認のうえ、指定解除について停止することを検討する。
- 2 常時陸上交通が確保された離島について、指定解除を検討する。
- 3 未指定離島の新たな指定にあたっては、各基準を満たしていることを確認したうえで、寄港回数・最短航路距離等の交通条件や社会経済状況などを総合的に判断し、離島振興法第1条の目的に沿うよう行う。

H25以降新たに指定・解除となった離島

○追加指定(7島)

H25.7: 沖島(滋賀県)、前島(岡山県)、似島(広島県)、小豆島・沖之島(香川県)、興居島(愛媛県)
H27.7: 大島(香川県)

○指定解除(5島)

H27.4: 淡路島(兵庫県)、高島(島根県)
H29.4: 鹿久居島・頭島(岡山県)
H30.4: 九島(愛媛県)

基準に満たない既指定離島

○H25.6時点で基準に満たないものの指定解除を停止・猶予とされた既指定離島

停止: 南那珂群島(宮崎県)
猶予: 小島(北海道)、児島諸島(岡山県)、青島(愛媛県)、桂島・新島(鹿児島県)

○H27国勢調査の結果、新たに基準に満たなくなった既指定離島

犬島(岡山県)、越智諸島(愛媛県)

※停止: 当面の間、指定解除しない。

※猶予: 国勢調査の都度、離島振興策の効果を確認し、指定解除の是非を判断
(南那珂群島は解除停止とされていたが、第7回指定検討部会(R1.9)の議論の結果、再度指定解除の是非を判断することとなった。)

離島振興対策実施地域における点検対象

第7回離島指定検討部会(令和元年9月5日)で定めた点検の対象となる地域は8地域

⇒ 第8回離島指定検討部会(令和2年10月27日)において、いずれも指定解除を猶予することが妥当とされたところ。

都道県名	指定地域名	島名	市町名	人口(H22)	人口(H27)	人口減少率(H17→H27)	外海全部 外海一部 内海	寄港回数(回/日)	航路距離(km)
北海道	小島	小島	厚岸町	13人	12人	7.7%	外海一部	-	-
岡山県	児島諸島	松島	倉敷市	3人	3人	41.2%	内海	-	-
		六口島	〃	10人	7人				
愛媛県	青島	青島	大洲市	19人	17人	51.4%	内海	2	13.5
宮崎県	南那珂群島	大島	日南市	11人	1人	81.8%	外海一部	4	3.4
		築島	串間市	25人	9人		10人	外海一部	-
鹿児島県	桂島	桂島	出水市	13人	8人	55.6%	外海一部	-	-
	新島	新島	鹿児島市	4人	0人 ※	100%	内海	3	1.7
岡山県	犬島	犬島	岡山市	54人	44人	32.3%	内海	7	2.2
愛媛県	越智諸島	鵜島	今治市	33人	23人	48.6%	内海	7	1.5
		津島	〃	18人	13人		36人	内海	4

※新島へ令和元年の秋頃に2人が移住してきている。

対象地域の点検内容

- 点検対象となる8地域について、「見直し後の離島指定基準の運用に関する留意事項」に基づき、状況を確認
- 8地域の取り扱いについては、各地域の今後の振興方針等を確認のうえ、判断

○現地調査結果を基に今後の振興方針等を確認。

令和元年10月から令和2年1月にかけて、4地域の現地調査を実施。

- ・令和元年10月29日 青島(愛媛県大洲市)
- ・令和元年11月15日 南那珂群島(大島(宮崎県日南市)、築島(宮崎県串間市))
- ・令和2年1月22日 新島(鹿児島県鹿児島市)
- ・令和2年1月24日 犬島(岡山県岡山市)

○残りの4地域については、自治体への聞き取り調査を基に確認。

- ・小島(北海道厚岸町)
- ・児島諸島(松島、六口島(岡山県倉敷市))
- ・桂島(鹿児島県出水市)
- ・越智諸島(鵜島、津島(愛媛県今治市))

対象地域の点検結果

- 国土審議会離島振興分科会離島指定検討部会（令和2年10月27日）において、対象地域においては、小規模離島であるものの地域の特色に合わせた活動が行われており、前向きに産業振興や人口の維持・拡大等に取り組む姿勢を確認した。
さらに、各地域における今後の振興方針等を確認すると、離島振興計画を踏まえた取り組みがなされている。また、現行の離島振興計画の期間は令和4年度までであり、現段階では取組の途中段階でもある。
- 以上を踏まえると、国土審議会離島振興分科会離島指定検討部会においては、現時点において、いずれの対象地域も指定解除を猶予することが妥当であると判断する。

○これまでの検討経緯

令和元年6月12日	第17回	離島振興対策分科会 (離島指定地域の点検のキックオフ)
令和元年9月5日	第7回	離島指定検討部会 (点検対象地域・作業方針の決定)
令和2年10月27日	第8回	離島指定検討部会 (点検箇所について審議)

点検内容

青島 現地視察概要

視察の概要

日程：令和元年10月29日（火）
 視察委員：山下委員
 位置：青島（愛媛県大洲市長浜町）

地域の概要

面積 (km ²)	人口 (H27)	人口減少率 (H17→H27)	寄港回数 (回/日)	航路距離 (km)	主要産業
0.49	17人	51.4%	2	13.5	1次産業

- ・長浜（本土）－青島は定期船「あおしま」で約35分。1日2便。
- ・H25年9月に**猫の島として紹介**されて以来、観光客が大幅に増えた。市は島民と話し合い、プライバシー侵害や生活に支障とならないようなルールづくりや生活環境の整備等を行い、**H30年度の観光客数は約5,000人**となっている。
- ・めばる、たい、あじ等の漁業及びヒジキの採藻業が主要産業となっている。
- ・地域おこし協力隊による青島地区の活性化や集落支援を目的に、平成26年度から3年間活動を行った。耕作放棄地でのじゃがいも・さつまいもの植栽、集落の草刈り、雑木の伐採などの環境整備を行った。
- ・観光の目的は猫が主であり、それ以外はキャンプ、海水浴、釣りである。外国人の方は2割程度。
- ・キャンプ場に関しては、施設は十分ではないが、スペース等、今後幅広く展開できる余地がある。
- ・猫は200匹程度生息しており、猫と島民のバランスの取れた環境を目指して、H30年度に不妊去勢手術を実施した。



船着き場周辺の様子



ネコのエサ場周辺

青島 現地視察概要

今後の振興方針等

- ・漢方薬の材料となる八朔の栽培を農協が中心となって行っており、H25年に作付し、令和元年度に初収穫後、試験的に製薬会社への出荷を行ったところ。島民自身による栽培の実施や農業の担い手としての移住者誘致などの可能性を念頭に、栽培継続の働きかけを行う。
- ・令和2年度から診療所が廃止されるため、島民の受診時支援として、月2回分の定期船運賃を補助する。
- ・現在、観光客が定期的に訪れているものの、お店などがなく、島へお金が落ちる仕組みがないため、例えばエサ付乗船券の実施など工夫することで活性化できる可能性がある。
- ・定期船は1日2便しかなく、観光客の利便性が低いため、島民が漁を行っていない時期に漁船を活用した観光振興策を検討し、新たな収入の確保を図る。
- ・今年度から使用しなくなる診療所や空き家数軒の状態を見る限り、少し改修すればお試し住宅など活用が出来るような状況であることを確認した。愛媛県が大洲市を含む南予地域の豊かな自然や地域資源を活用してワーケーションの誘致を進めていることから、旧診療所の活用方策の一つとして検討する。空き家については、改修して、移住体験施設や観光客・夜釣り客向けの休憩所の開設などを検討する。
- ・県指定無形民俗文化財である「青島の盆踊り」について、島民のみでは踊り手の確保等が困難であるため、本土側の自治会、公民館、婦人会の協力を得て盆踊りの伝承に努めているところである。今後も自治会等と連携しながら、伝統文化の伝承を通じて、世代間の交流を推進していく。



八朔等の栽培状況



青島診療所



島内の状況

南那珂群島 現地視察概要

視察の概要

日程: 令和元年11月15日(金)
 視察委員: 鳥居委員
 位置: 南那珂群島(大島(宮崎県日南市)、築島(宮崎県串間市))

地域の概要

島名	面積 (km ²)	人口 (H27)	人口減少率 (H17→H27)	寄港回数 (回/日)	航路距離 (km)	主要産業
大島	2.08	1人	81.8%	4	3.4	1次産業
築島	0.24	9人		-	-	1次産業

【大島】

- ・日南市南郷町の中心部から東方約2.5kmに位置し、市営定期船が4便/日運航しており、**H30年度の利用者数は約4,700人**。
- ・市がコテージ及びキャビンを所有しており、民間に管理を委託して、企業の研修や体験学習の場として、多く活用されている。
- ・日本初の無筋コンクリート灯台である鞍碕灯台がある。国の有形文化財に登録されている。

【築島】

- ・対岸の集落から約150mに位置し、定期船は無く、島民は自分の船により本土と行き来をしている。
- ・島の主要産業は漁業。若い漁師は遠洋漁業に出ており、年に1~2回戻る程度。その他は近海で伊勢エビを取っている。
- ・対岸の本土側の市木地区は、ダイビングやサーフィン目当ての移住者がいる。
- ・市が地域おこし協力隊を雇っており、観光PRの際には築島も対象にしている。



大島の鞍碕灯台



築島船着き場の全景

南那珂群島 現地視察概要

今後の振興方針等

【大島】

- ・本土との航路の確保により島民生活の安定を図るとともに、島の景観や自然を生かした観光及び滞在型体験学習の実施による交流人口の拡大を図る。
- ・令和2年度に国民文化祭(10/17から51日間)を実施する予定で、「南郷大島ミュージアム」として、島まるごとを美術館として、芸術作品等を展示する予定。
- ・大島の活性化に取り組むため、「大島プロジェクト会議」という団体が構成されており、H27頃よりボランティアや元島民、関係者により、イベントの企画や、島内の清掃・維持管理等のボランティア活動を行っている。
- ・大島プロジェクト会議の呼びかけにより、企業や学校関係者が研修、視察等に多く来島しており、一般向けの大島ツアーも盛況とのこと。
- ・伊勢エビのバーベキュー等を目玉として、大島ツアーを年に5~6回、大島プロジェクト会議が企画している。

【築島】

- ・定着性種苗の放流や人工漁礁の設置による漁場整備など水産基盤の整備を図る。
- ・本土との医療機関との連携及び搬送体制の確立及び防災対策の推進による安全・安心な生活環境の整備を行うことで島民の福祉の向上を図る。
- ・現在、民間事業者が宿泊施設を建設中で、体験学習や合宿等の受け入れに向けて、環境整備を行う予定。
- ・現在建設中の宿泊所を核として、住民とともに祭りや地域イベントを行い、今後は観光客も受け入れていきたい意向。



大島のキャビンとバーベキュー場



改修中の宿泊所(築島)



現地調査状況(築島)

新島 現地視察概要

視察の概要

日程: 令和2年1月22日(水)
 視察委員: 小田切委員
 位置: 新島(鹿児島県鹿児島市)

地域の概要

面積 (km ²)	人口 (H27)	人口減少率 (H17→H27)	寄港回数 (回/日)	航路距離 (km)	主要産業
0.13	0人	100%	3	1.7	—

- ・錦江湾内にある桜島の北東約1.5kmに位置し、鹿児島市に属する離島。
- ・桜島と行政連絡船で結ばれており、航路距離1.7km、寄港回数3便/日(週3日)。
- ・桜島・錦江湾ジオパークのジオサイトの一つで、霧島錦江湾国立公園にも指定されており、年10回程度、ツアーや講座が行われている。
- ・H25から無人化していたが、島及び神社の保全を目的として、**R1秋頃に1世帯2人(元島民)が移住してきた。**
- ・新島は火山により隆起した島で、地質学的な価値や、植物、鳥類の研究者からも興味を持たれている。
- ・無人化による荒廃を防ぐために、H26から元島民を中心に清掃・環境整備活動を行い、口コミで新島のサポーター仲間を増やしたが、更なる仲間を増やすためにも、県に相談の上、H30.3に**NPO法人化(NPO法人ふるさと再生プロジェクトの会:会員6名)**をした。現在では、NPO法人の構成員は20名まで増えた。
- ・島民らの資金で神社を改修し、去年は祭りを開き、30名弱の方が来島した。元島民は4~5名で、残りはNPOやボランティア関係者。
- ・島民は島内での生活のため、船舶免許を取り、自家用船を借りている。日曜日は行政連絡船が満員となることもあり、その際は島民が本島まで送迎。



改修後の神社



行政連絡船(12人乗り)

新島 現地視察概要

今後の振興方針等

- ・新島は桜島の安永噴火(1779-82)の折に海底が隆起して形成された希少な成り立ちで、約5000年前の貝化石層を直接見ることができる**地質学的に高い価値を有しており、ジオツアーも人気**である。イベント時には、鹿児島港からの遊覧船も利用されている。市としては、桜島周遊の観光コース(バスツアー等)のメニューに組み込むなど、非日常を体感できる観光資源として活用し、地域間の交流を促進する。
- ・本土との交通手段である行政連絡船の維持・改善に努めるとともに、生活の安定及び福祉の向上に努める。
- ・第五次鹿児島市総合計画の第4期実施計画(H30~R2)中に、「新島利活用可能性調査事業」を位置付けており、市としての新島の利活用の意向が確認できる。
- ・H30市調査結果を基に、R1に小学校の旧校舎を取り壊し、R2に実施設計、工事を開始し、R3に**キャンプ場の供用**開始を目指している。(現在は、スケジュールを見直し、R3に工事開始、R4にキャンプ場の供用開始を目指している)
- ・キャンプ場と合わせて、旧公民館を案内所として活用する見込み。
- ・行政連絡船の増便・ダイヤ改正も検討する予定。
- ・島民の自宅で民泊できるよう、県に申請を相談中。(現在は、民泊を営業中)



島南部の砂浜(奥には桜島)



旧小学校を解体(キャンプ場整備予定)



外周道路(奥は港・公民館)

犬島 現地視察概要

視察の概要

日程: 令和2年1月24日(金)
 視察委員: 矢ヶ崎委員
 位置: 犬島(岡山県岡山市)

地域の概要

面積 (km ²)	人口 (H27)	人口減少率 (H17→H27)	寄港回数 (回/日)	航路距離 (km)	主要産業
0.54	44人	32.3%	7	2.2	3次産業

- ・岡山県岡山市の東南端、宝伝から約2kmの沖合に位置する離島。
- ・近代化産業遺産である犬島精錬所跡を美術館として再生・保存し、現代芸術の島として脚光を浴びており、平成22年からは3年毎に開催されている瀬戸内国際芸術祭の会場の一つとなっている。
- ・宿泊施設として短期滞在型生涯学習施設「犬島自然の家」や海水浴場に隣接した市営キャンプ場が整備されている。
- ・定期船は、宝伝港～犬島港で6～8便を曜日・時期に合わせ増減させている。宝伝港との定期便の他に、犬島－豊島－直島を結ぶ高速旅客船と、犬島－小豆島を結ぶ旅客船も定期的に運航している。昨年度は、瀬戸内国際芸術祭の開催期間に合わせて、岡山京橋から犬島へのクルーズ船が初めて就航された。
- ・H30の観光入込客数は約2万人、R1は瀬戸内国際芸術祭があったことから、春～秋の芸術祭開催期間中だけで約5万人が来島した。
- ・犬島の北西に100mほどの距離に犬ノ島という無人島があるが、犬ノ島には香料の工場があり、昼間は約50人が就業している。
- ・小学校の旧校舎を市の少年自然の家として活用している。毎年、市内の小学生を中心に宿泊・島体験をしている。



犬島精錬所美術館



少年自然の家(旧小学校)

犬島 現地視察概要

今後の振興方針等

- ・住民の安全・安心で快適な暮らしとのバランスを保ちながら、文化・芸術の島として、芸術活動の継続やイベント開催などへの支援を通じ、交流人口の増加や犬島への関心の醸成など、島の活性化に努める。
- ・高齢者が安心して快適に生活していくために、本土側の関係機関等と連携し、医療・福祉・介護サービスの充実に努める。
- ・住民及び来島者の利便性向上のために本土側との交通アクセスの確保をはじめ、海水浴場、キャンプ場、犬島自然の家などの既存施設や優れた自然条件を有効活用した観光、レジャー、体験学習など多様な活動ができる環境づくりを検討・推進していく。
- ・福武財団(ベネッセ)は、犬島と豊島、直島は**島ごと美術館化する構想**で事業を行っており、美術品の展示と、地元住民の雇用等を行っている。また、福武財団は、空き家を取得して、新たな家プロジェクト(美術品制作)の拡大や宿泊施設を作りたいとの意向も示されており、財団と地元自治会、役所による連絡会議を不定期で開催し、今後に関する協議が行われている。



犬島「家プロジェクト」石職人の家跡



移住者が開く食事処



犬島の島犬(ハウスプロジェクト)

対象地域における今後の方針

都道県名	指定地域名	島名	市町名	H25時の点検結果	今後の振興方針(島の特徴)
北海道	小島	小島	厚岸町	猶予	<ul style="list-style-type: none"> 島の主要産業である漁業の生産高は平成20年度以降減少傾向にあるため、産業基盤の整備等により生産性が高く安定した水産業の振興を図ることで、夏場は島・冬場は本土という独特の生活スタイルを維持しながら、離島の自立的発展を促進。 波浪などによる海岸浸食の防止対策や防災貯水槽の整備等により島民の生活の安定を図り、半定住も含めた人口の拡大を目指す。
岡山県	児島諸島	松島	倉敷市	猶予	<ul style="list-style-type: none"> 本地域の魅力をインターネット等を通じて、幅広くPRしていくこととともに、「ジーンズ発祥の地」である児島地区などの本土側観光地を含めた観光ルートについて、民間渡船業者や観光業者と連携して企画実施することで、交流人口の拡大を目指す。
		六口島	//		
愛媛県	青島	青島	大洲市	猶予	<ul style="list-style-type: none"> 観光客を増やし、島の知名度を上げ、1人でも定住者を確保し、無人島になることを防止 島独自で自立的発展を遂げることは困難であることから、本土と連携を図りながら、島内道路の保全修理、生活用水の維持などを重点的に行い、住民が安心して暮らせる地域づくりを目指す。 漁業だけでなく高齢者が安定した収入を得るように、新たな農作物の植え付けを検討。現在、試験的に漢方薬の材料となる八朔の栽培を行っている。 豊かな自然や地域資源を活用してワーケーションの誘致を進めていくこととしており、旧診療所の活用方策の一つとして検討する。
宮崎県	南那珂群島	大島	日南市	停止	<ul style="list-style-type: none"> 本土との航路の確保により島民生活の安定を図るとともに、島の景観や自然を生かした観光及び滞在型体験学習の実施による交流人口の拡大を図る。 定着性種苗の放流や人工漁礁の設置による漁場整備等、水産基盤の整備を図る。 本土の医療機関との連携及び搬送体制の確立及び防災対策の推進による安心・安全な生活環境の整備を行うことで島民の福祉の向上を図る。 大島の活性化に取り組むため、「大島プロジェクト会議」という団体が構成されており、H27頃よりボランティアや元島民、関係者により、イベントの企画や、島内の清掃・維持管理等のボランティア活動を行っている。 築島において、民間事業者が宿泊施設を建設中で、体験学習や合宿等の受け入れに向けて、環境整備を行う予定。建設中の宿泊所を核として、住民とともに祭りや地域イベントを行い、今後は観光客も受け入れていきたい意向。
		築島	串間市		

対象地域における今後の方針

都道県名	指定地域名	島名	市町名	H25時の点検結果	今後の振興方針(島の特徴)
鹿児島県	桂島	桂島	出水市	猶予	<ul style="list-style-type: none"> ・アワビ等の種苗放流を行い、つくり育てる栽培漁業と体長による採捕制限や網目規制等による管理型漁業を推進し、水産業の振興及び島民の生活の安定を図る。 ・浮棧橋を設置することで、島民の生活利便性の向上を図る。また、島の自然や資源を生かした観光をPRするとともに、島内に案内板を設置し、交流人口の拡大を目指す。
	新島	新島	鹿児島市	猶予	<ul style="list-style-type: none"> ・地質学的に高い価値や既設のインフラ等を生かし、非日常を体感できる観光資源として活用し、地域間の交流を促進する。 ・本土との交通手段である行政連絡船の維持・改善に努めるとともに、生活の安定及び福祉の向上を図る。 ・R1秋頃に1世帯2人(元島民)が移住してきた。 ・H26より元島民を中心に清掃・環境整備活動を行い、ロコミで新島のサポーター仲間を増やし、H30.3にNPO法人化され、島の環境保全、地域社会づくりに寄与するため、活動を続けている。
岡山県	犬島	犬島	岡山市	—	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の安全・安心で快適な暮らしとのバランスを保ちながら、文化・芸術の島として、芸術活動の継続やイベント開催などへの支援を通じ、交流人口の増加や犬島への関心の醸成など、島の活性化に努める。 ・高齢者が安心して快適に生活していくために、本土側の関係機関等と連携し、医療・福祉・介護サービスの充実に努める。 ・住民及び来島者の利便性向上のために本土側との交通アクセスの確保をはじめ、海水浴場、キャンプ場、犬島自然の家などの既存施設や優れた自然条件を有効活用した観光、レジャー、体験学習など多様な活動ができる環境づくりを検討・推進していく。 ・R1年度は、瀬戸内国際芸術祭の開催期間に合わせて、岡山京橋から犬島へのクルーズ船が初めて就航された。 ・福武財団(ベネッセ)は、犬島と豊島、直島は島ごと美術館化する構想で事業を行っており、美術品の展示と、地元住民の雇用等を行っている。
愛媛県	越智諸島	鵜島	今治市	—	<ul style="list-style-type: none"> ・静かな生活を望む住民の意向を尊重しながら、可能な範囲で住民と島外の方との地域間交流を促し、離島における定住の促進を図る。 ・住民が島内で安心して生活できるように、海岸保全施設や防災行政無線の整備など生活インフラの整備を行い、離島者の増加を防ぐ。
		津島	〃		